



「朝日社会福祉賞」候補者推薦のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から朝日新聞社の表彰事業にご理解をいただき、厚く御礼申し上げます。

2003年度「朝日社会福祉賞」の候補者をご推薦いただきたく、推薦票を添えてお願い申し上げます。ご参考までにこれまでの受賞者一覧を同封いたします。

「朝日社会福祉賞」は、社会や福祉に献身し、功績の著しい個人または団体にお贈りするものです。障害者福祉、地域精神医療、高齢者介護、末期医療などの分野に加え、人道的な見地による難民・飢餓・災害などへの支援のような社会全体への貢献も対象とさせていただきます。ご推薦いただいた候補者は、社内に設けた審査委員会で慎重に審議し、受賞者を決定いたします。

ご多忙のところ恐縮ですが、推薦票は8月29日(金)までに同封の封筒でお送りいただければ幸いです。

なお、受賞者は2004年1月初めの朝日新聞紙上で発表し、2月に東京本社で贈呈式を行います。

敬具

2003年6月

朝日新聞社

※お問い合わせなどは、下記で承ります。

朝日新聞社事業本部西部企画事業部「朝日社会福祉賞」係

〒812-8511 福岡市博多区博多駅前2-1-1

電話（直通）092-411-1137 ファクス 092-481-3428



朝 日 賞

学術、芸術などの分野で傑出した業績をあげ、わが国の文化、社会の発展、向上に多大の貢献をされた個人または団体に贈ります。一九二九年（昭和四年）に朝日新聞創刊五十周年記念事業として創設しました。一時「朝日文化賞」「朝日体育賞」などの部門賞に分けられましたが一九七五年度からは部門分けをなくし各分野を総合した賞になりました。受賞者のなかから後年、ノーベル賞や文化勲章を受けられた方も多く出ています。一九九二年に財団法人朝日新聞文化財団が授賞事業を引き継ぎました。全国の大学、研究機関、有識者らに候補推薦を依頼し、朝日新聞文化財団朝日賞選考委員会が受賞者を選考します。毎回翌年一月に贈呈式を行い、正賞と副賞を贈ります。第一回以来の受賞者は合わせて三百九十九人と二十五団体になります。

朝日賞特別賞

「朝日賞特別賞」は、朝日賞本賞以外の分野において、長年にわたり国際的または社会的貢献が著しく、傑出した業績をあげた個人・団体に贈ります。一九九五年度には「朝日賞スポーツ特別賞」として一人が受賞。一九九九年度には「朝日賞特別賞（国際貢献）」として一人が受賞しました。

いずれも本社内の委員会で選考し、正賞と副賞を贈ります。

朝日社会福祉賞

社会や福祉に貢献し、功績の著しい個人または団体に贈ります。一九四七年に朝日賞の「社会奉仕賞」として設けられました（第一回表彰は一九四九年）が、一九七五年度の朝日賞改革に伴い、独立の賞となりました。毎年六月から全国の福祉関係団体や専門家に候補推薦を依頼、本社内の委員会で選考します。翌年二月に贈呈式を行い、正賞と副賞を贈ります。受賞者は合わせて八十五人と八団体になります。

朝日スポーツ賞

スポーツの各分野で優れた成果を挙げた個人または団体に贈ります。一九二九年に創設した朝日賞（体育部門）、一九七五年度に独立した朝日体育賞の基本精神を受け継ぎながら、一九八九年度からは対象をプロにも広げ、副賞賞金を設けるなど「朝日スポーツ賞」として更に充実させました。本社内の委員会で年間の記録などをもとに選考、翌年一月に贈呈式を行い、正賞と副賞を贈ります。受賞者は合わせて、のべ三百三十二人と八十九団体・チームとなります。

また「朝日スポーツ賞」とは別に、国際的に優れ、日本のスポーツ史に残る卓越した業績を打ち立てた個人や団体に随時贈られるものとして二〇〇〇年に「朝日スポーツ賞特別賞」を新設しました。同年にはシドニー五輪女子マラソンの金メダリスト、高橋尚子氏と監督の小出義雄氏が、二〇〇一年には米大リーグ・アメリカンリーグで日本人初の首位打者に輝いたシアトル・マリナーズのイチロー選手が受賞しました。本社内の委員会で選考し、正賞と副賞を贈ります。